

報道関係各位

2022年 1月18日

中日本高速道路株式会社 東京支社

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所



## E4 西湘バイパスが全線開通 50 周年を迎えました ～地域の発展に大きく貢献～

NEXCO 中日本 東京支社、および国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所は、2022 年 1 月 27 日（木）に E4 西湘バイパス（西湘バイパス）が全線開通 50 周年を迎えるにあたり、整備効果を取りまとめましたので、お知らせします。

また、これまでご利用いただいたお客さまや沿線の皆さまをはじめ、多くの方々に感謝の気持ちをお伝えするイベント・キャンペーンを行います。

### ■整備効果

西湘バイパスは、1972 年の全線開通から現在まで皆さまの日々の暮らしを支え、沿線地域の観光振興や地域の発展に大きく貢献してきました。

#### ■1972 年からの累計で約 6.7 億台の利用、経済波及効果は約 3.2 兆円

#### ■周辺路線と順次接続し、高規格道路ネットワークを形成

○小田原厚木道路等との接続により、**各方面へのアクセスが向上**。

#### ■湘南地域の東西移動を円滑・快適に

○大磯町～箱根町の**東西移動における所要時間削減**に貢献。

○通勤・通学や買物・通院等の**日常的な利用目的の割合が約 5 割**。

#### ■首都圏と歴史的な温泉地を結ぶ道

○首都圏から**温泉地へのアクセス向上**に貢献。

#### ■沿線地域の観光振興に貢献

○西湘バイパス周辺には、多数の観光・レジャー施設が立地し、**地域観光振興に貢献**。

#### ■老舗の味の流通を支援

○西湘バイパス沿線では「かまぼこ」、「ひもの」が地域産業として古くから発展し、**水産加工品の生産地と消費地の橋渡し**に貢献。

#### ■地域経済の発展に貢献

○沿線地域では人口集中地区（DID）の面積が**約 1.8 倍増加**、沿線人口は**約 1.2 倍に増加**。

#### ■越波・高波への対応

○**安全・安心な高速道路の提供**を目指し、越波・高波への対応として、西湘パーキングエリア（西湘 PA）（下り）被害軽減に向けた対応、越波リモート監視システム実証実験を実施。

## ■イベント・キャンペーン

### ーパネル展

西湘バイパスの歴史や整備効果、西湘バイパスをご利用されたお客さまの思い出エピソードについてご紹介するパネル展を実施します。

実施日	実施場所
2022年1月25日（火）～1月30日（日） 2022年2月8日（火）～2月13日（日）	生涯学習センター ラディアン（神奈川県中郡二宮町二宮）
2022年1月31日（月）～2月7日（月）	大磯町 町役場庁舎（神奈川県中郡大磯町東小磯）
2022年2月21日（月）～3月4日（金）	小田原市 市役所庁舎（神奈川県小田原市荻窪）

### ー橋料金所のブースラッピング

西湘バイパス 橋本線料金所の料金所ブースをラッピングし、お客さまに感謝をお伝えいたします。

※ラッピングイメージ



上記のほか、お客さまに感謝の気持ちを込めたイベントや取組みを検討中です。詳細が決まりましたらNEXCO 中日本公式 WEB サイトなどを通じてお知らせいたします。

### 西湘バイパス 全線開通 50 周年記念ロゴマークについて

当ロゴマークは、神奈川県小田原市に所在する神奈川県立小田原城北工業高等学校の生徒さんにデザインいただいたもので、海沿いを走る西湘バイパスの特徴を表現したものとなっています。

今後、西湘バイパス全線開通 50 周年記念ロゴとして、ポスターや冊子などの各種広報物に活用します。



#### (作品説明・製作者コメント)

西湘バイパスは海を眺めながら走行できるので、青を基調に落ち着いたのあるロゴデザインにしました。また、どこまでも続くような長い橋をイメージして土星のような形にしました。

50周年をきっかけに、西湘バイパスをより多くの方に利用していただきたいのと、ロゴマークを見つけたら少しでも気にとめてもらえると嬉しいです。

同時配付先	国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会、静岡県社会部記者会、静岡県政記者クラブ、小田原市政記者クラブ
お問い合わせ先 (マスコミ専用)	中日本高速道路株式会社 東京支社 広報 CS 課 TEL 03-5776-5257 (直通) 国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査課 TEL 045-316-3537 (直通)
お問い合わせ先 (お客さま専用)	NEXCO 中日本お客さまセンター (24 時間対応) TEL 0120-922-229 (フリーダイヤル) ※フリーダイヤルをご利用になれない場合 TEL 052-223-0333 (通話料有料) 国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査課 TEL 045-316-3537 (直通)

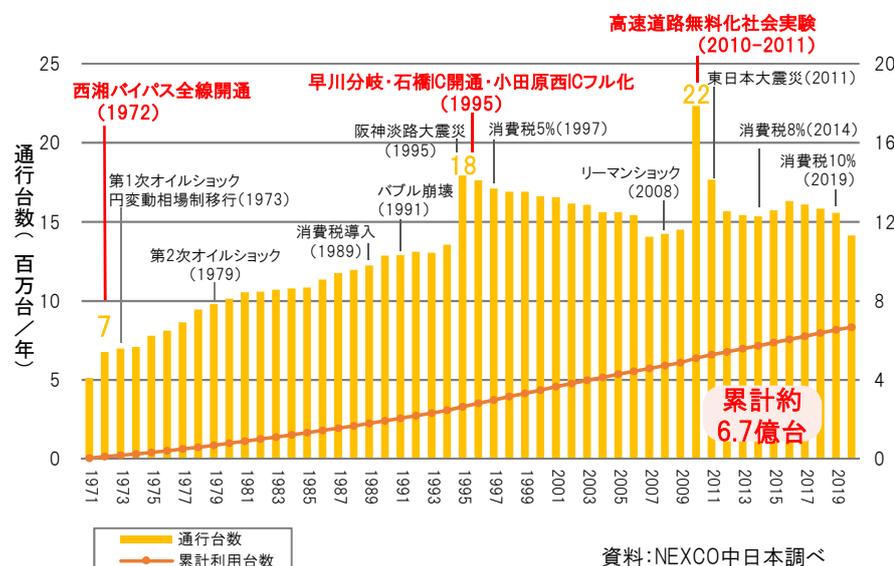
# 1. 西湘バイパスの概要

- 西湘バイパスは、2022年1月27日に全線(大磯東IC～箱根口IC)開通から**50周年**を迎えます。
- 西湘バイパス開通後の経済波及効果は、**50年間で約3.2兆円**に上ります。
- 開通以降、**累計で約6.7億台**に利用いただいています。

## ■西湘バイパスの位置

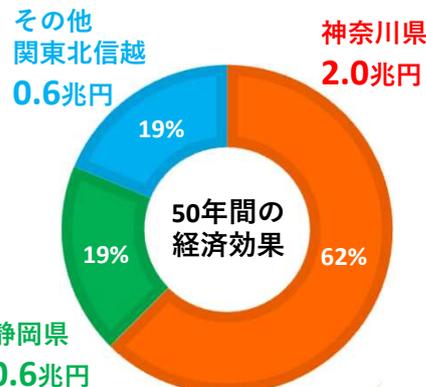


## ■西湘バイパス(有料区間)の年間利用台数と累計利用



## ■経済波及効果

西湘バイパスの経済波及効果は、1972年からの50年間で**約3.2兆円**。



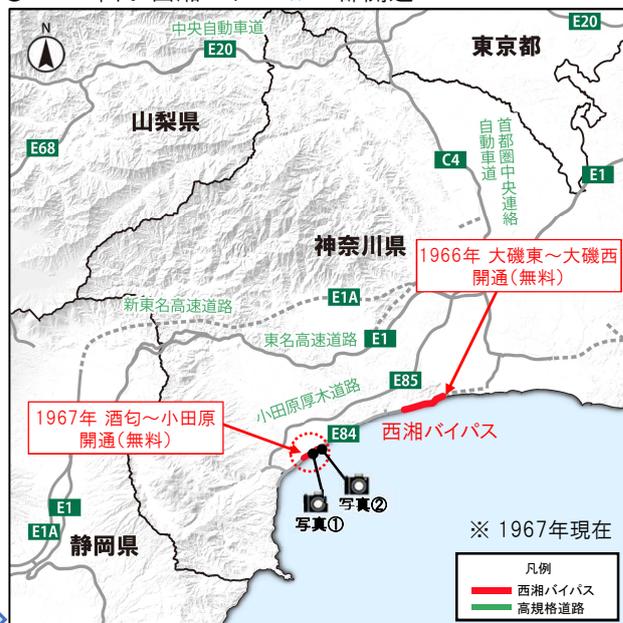
※経済波及効果は、国立大学法人横浜国立大学との共同研究に基づき、神奈川県内地域間産業連関表および関東地域間産業連関表を用いて、西湘バイパスに関連した地域間取引をもとに推計した。

## 2. 西湘バイパスの歴史

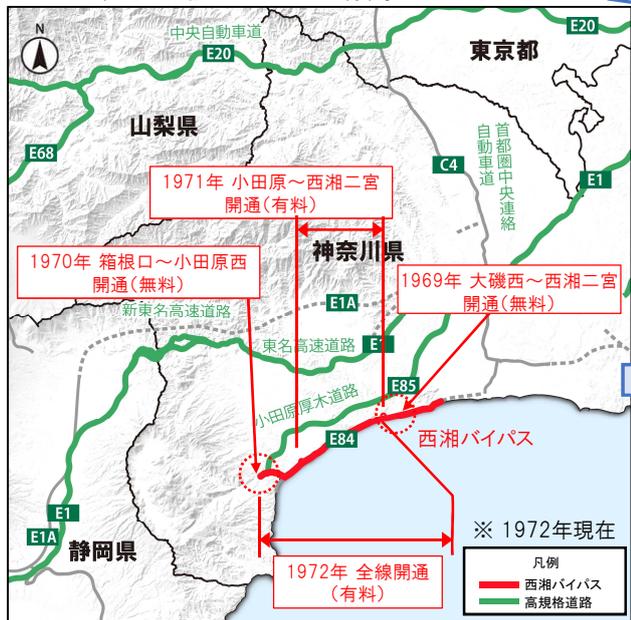
- 西湘バイパスは、1964年に着工され、1972年に全線開通しました。
- 現在までに、小田原厚木道路等の周辺路線との接続により高規格道路ネットワークを構築し、**各方面のアクセス向上**に貢献しています。

年次	内容
1964年	建設省(現・国土交通省)により着工
1966年	大磯東IC～大磯西IC 開通(無料)
1967年	酒匂IC～小田原IC 開通(無料)
1968年	酒匂IC～国府津仮出入口 開通(無料)
1969年	大磯西IC～西湘二宮IC 開通(無料) 自動車専用道路に指定 中郡二宮町以西の区間を日本道路公団 (現・NEXCO中日本)が引き継ぎ、有料道路事業として施行
1970年	箱根口IC～小田原西IC 開通
1971年	小田原IC～西湘二宮IC 開通 有料道路として供用開始
1972年	西湘バイパス 全線開通
1987年	大磯港IC 大磯東出口 開通(無料)
1995年	早川分岐 石橋IC 開通 小田原西ICフル化完成
2002年	小田原西ICと西湘バイパスが接続
2005年	箱根口ICにおいて小田原箱根道路に接続 道路関係四公団の民営化により日本道路公団から 中日本高速道路に移管

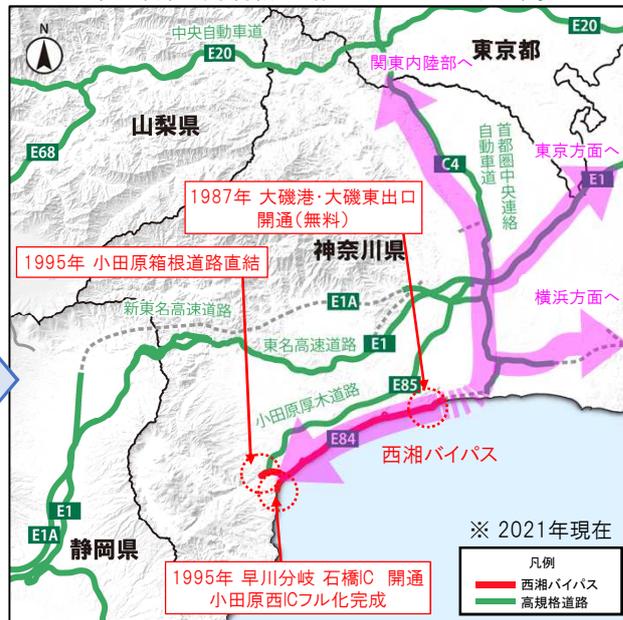
### ●1960年代: 西湘バイパスが一部開通



### ●1970年代: 西湘バイパスが全線開通



### ●1980年～現在: 高規格道路ネットワークが順次開通



資料: 地理院地図、国土数値情報(高速道路時系列)

写真① 西湘バイパス(酒匂橋の架橋工事)  
(1965年)



画像出典: 小田原市HP

写真② 西湘バイパス(酒匂IC～国府津仮出入口)開通  
(1967年)



画像出典: 小田原市HP

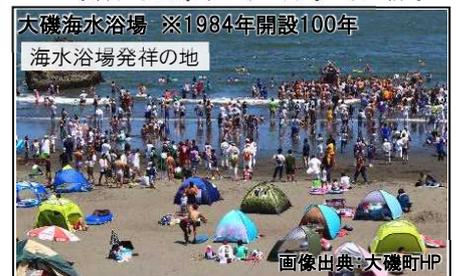
# 3. 西湘バイパスと沿線地域のあゆみ (①1960年～2000年)



○西湘バイパスの沿線3市町は、戦後の高度経済成長を背景に人口や産業が拡大しました。  
○西湘バイパスは、沿線3市町の発展を長らく下支えしてきました。

西湘バイパス・周辺路線	年	小田原市	二宮町	大磯町	世の中の出来事
西湘バイパス着工	1964	東海道新幹線小田原駅開業			東京オリンピック 東海道新幹線 開通
	1965	人口13.9万人	人口1.5万人	人口2.5万人	
大磯東IC～大磯西IC 開通(無料)	1966		二宮団地入居開始		日本総人口1.0億人到達 中国文化大革命
酒匂IC～小田原IC 開通(無料)	1967				公害対策基本法公布
酒匂IC～国府津仮出入口 開通(無料)	1968				いざなぎ景気 日本GNP世界第2位に
東名高速道路全線開通 小田原厚木道路全線開通(暫定2車線) 大磯西IC～西湘二宮IC 開通(無料) 自動車専用道路に指定 中郡二宮町以西の区間を日本道路公団が引き継ぎ、有料道路事業として施行	1969		百合が丘団地(二宮団地)が開発完了		アポロ11号が月面着陸
箱根口IC～小田原西IC 開通	1970				日本万国博覧会(大阪万博)開幕
小田原IC～西湘二宮IC 開通 有料道路として供用開始	1971	小田原市と旧橋町が合併(人口16.6万人)			
西湘バイパス全線開通	1972	公設青果地方卸売市場が開場	二宮町給食センターが開業		沖縄返還 札幌冬季オリンピック
	1973			大磯港完成	
	1975				沖縄国際海洋博覧会(沖縄万博)
	1978		役場新庁舎完成		
小田原厚木道路全線開通(4車線)	1979				第2次石油ショック 大学共通一次試験開始
台風18号により砂浜浸食、護岸等が被災	1982				
	1984		吾妻山公園の一部が開園	海水浴場開設100年記念式典を開催	
	1985				国際科学技術博覧会(つくば万博)
大磯港IC 大磯東出口 開通(無料)	1987	二宮尊徳生誕200年記念事業			JR誕生
	1989		県道秦野二宮線バイパスが開通		消費税3%導入
	1990	市制50周年・小田原合戦400年記念事業			国際花と緑の博覧会(大阪)
	1991		二宮せせらぎ公園が開園 人口3.0万人突破		バブル景気崩壊
早川分岐 石橋IC供用開始 小田原西ICフル化完成	1995	人口20.0万人突破 北條早雲小田原入城500年「小田原フラワーガーデン」が開業		人口3.2万人突破	阪神・淡路大震災
	1997	小田原アリーナ、小田原テニスガーデン開設			消費税5%
世界初のPCエクストラードロード橋として小田原ブルーウェイブリッジがFIP賞を受賞	1998			かながわゆめ・国体(ゴルフ・綱引)開催	長野冬季オリンピック
	1999		第1回ふるさとまつりを開催		携帯電話の電話番号11ケタ化
	2000	特例市に指定 全国童謡フェスティバル～白秋IN小田原～開催	二宮町生涯学習センターが開業		介護保険制度がスタート

資料:小田原市HP、二宮町HP、大磯町HP



## 《西湘バイパス沿線3市町の社会経済指標の変化》



# 3. 西湘バイパスと沿線地域のあゆみ (2001年～現在)



○2000年代には、周辺の高規格道路と順次接続し、ネットワークの充実が進みました。  
○沿線3市町は、西湘バイパス等の交通ネットワークの充実を背景に、近年においても産業・観光立地が進んでいます。

西湘バイパス・周辺路線	年	小田原市	二宮町	大磯町	世の中の出来事
小田原厚木道路(小田原西IC)と西湘バイパスが接続	2002		二宮果樹公園が開園	東海道シンポジウム大磯宿大会を開催	FIFAワールドカップ日韓大会
	2003	小田原さかなセンター開業			郵政事業庁が日本郵政公社へ
	2004	おだわらルネッサンス推進本部設置			
西湘バイパスが小田原箱根道路に接続	2005		第1回吾妻山菜の花まつりを開催		日本道路公団がNEXCO3社へ分割民営化 愛・地球博(愛知万博)
台風9号により大規模な砂浜浸食、護岸・擁壁倒壊	2007			湘南国際マラソン開始 松本順没後100周年記念事業	米サブプライム問題
	2008				リーマン・ショック
	2009		コミュニティバスを本格始動開始	伊藤博文没後100周年記念展	
高速道路無料化の社会実験	2010		二宮町新学校給食センターが開業	大磯市(おいそいち)開始	
	2011				
	2012	「箱根ジオパーク」が誕生 アマゾン小田原FC開業	横浜地方事務局西湘二宮支局が開業	旧木下家別邸(大磯駅前洋館)が国登録有形文化財(建造物)に登録	原発一時稼働ゼロ
	2013		暫定北口駅前広場が供用開始		
西湘海岸海岸保全施設整備事業開始	2014	HaRuNe小田原開業		大磯海水浴場開設130年	御嶽山が噴火 消費税8%
	2015	特例市制度の廃止に伴い「施行時特例市」に指定	ラディアン花の丘公園が開園 町政施行80周年事業		
	2016		ニーノとミーヤをPRキャラクターに認定		熊本地震 マイナンバーカードの交付開始
台風21号により西湘バイパスの一部区間で路肩などが崩落	2017	「第9回全国井サミットinおだわら2017」を開催		旧吉田茂邸再建、公開	国連で核禁止条約採択
	2018	箱根八里が日本遺産に認定	二宮町の認定PRキャラクター ニーノとミーヤ		史上初の米朝首脳会談
台風19号により下り線の大磯西IC付近で土砂流出が発生	2019	小田原市が環境省「脱炭素型地域交通モデル構築事業」に採択 「漁港の駅 TOTOCO小田原(小田原漁港交流促進施設)」の開業	 画像提供: 二宮町		元号が平成から令和に改元 消費税10%
	2020	ミナカ小田原開業		みなとオアシス大磯登録 明治記念大磯邸園、一部公開開始	新型コロナウイルス流行 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が閣議決定
リニューアル工事	2021	小田原三の丸ホール、小田原市観光交流センター開業		大磯港賑わい交流施設(OISO CONNECT)の開業	東京オリンピック・パラリンピック

資料: 小田原市HP、二宮町HP、大磯町HP



### 《小田原市の声》



・小田原の海の幸を堪能できるスポットとして人気の「漁港の駅TOTOCO小田原」は、西湘バイパス早川ICより車で2分という利便性を活かし、毎年多くの観光客にお越しいただいています。

資料: 2021年11月ヒアリング調査結果

### 《二宮町の声》



・二宮町は海沿いかつ温暖な気候という環境であり、西湘バイパスをはじめ、高速道路アクセスが良く、利便性が高い町です。この恵まれた環境や交通の便を活かし、リタイア・セミリタイアした方に向けた移住促進のシティプロモーションを行っています。

資料: 2021年10月ヒアリング調査結果

### 《大磯町の声》



・みなとオアシス大磯の代表施設である大磯港賑わい施設OISO CONNECTは大磯港活性化整備計画に基づき、大磯港内に整備されました。西湘バイパス大磯港ICからのアクセスが良く、駐車場では県外ナンバーも多く見受けられます。

資料: 2021年11月ヒアリング調査結果

#### 4. 西湘バイパスの整備効果



### ① 湘南地域の東西移動を円滑・快適に

- 西湘バイパスは、国道1号のバイパスとして、所要時間削減に貢献するなど、**円滑・快適な東西移動に寄与**しています。
- 通勤・通学や買い物・通院等、日常的に利用されており、**地域の生活に根ざした道路**となっています。

#### ■西湘バイパスと並行する国道1号



資料：第18回神奈川県移動性向上委員会資料・事故危険箇所の指定箇所一覧H29.1時点(国交省)を基に作成

#### ■大磯町～箱根町への所要時間



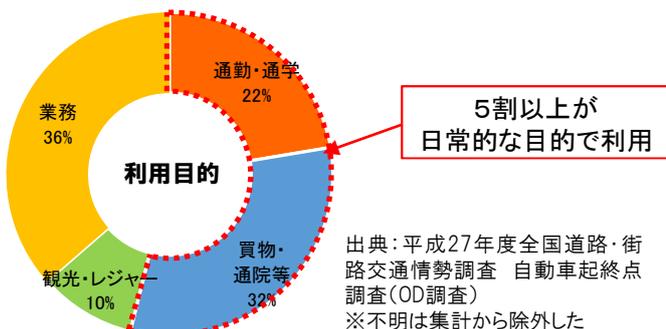
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

※大磯町境(平塚側)～箱根町境(小田原側)までの所要時間を混雑時旅行速度より算出



円滑・快適な東西移動を支える西湘バイパス (2021年12月 国府津IC付近)

#### ■西湘バイパスの利用目的



#### 《西湘バイパス利用者の声》

- ・子供のころから横浜に住んでいる私は、家族とよく伊豆旅行に行きました。子供のころは乗り物酔いが激しく車での旅行が苦痛でしたが、西湘バイパスは海に面していて気持ちよくいい思い出です。(50代女性)
- ・子供たちが小さいころ、毎夏大磯ロングビーチに家族5人で西湘バイパスを通って行っていました。来年あたり孫を連れて行きたいと思っています。(60代男性)



資料：2021年10月WEBアンケート調査結果

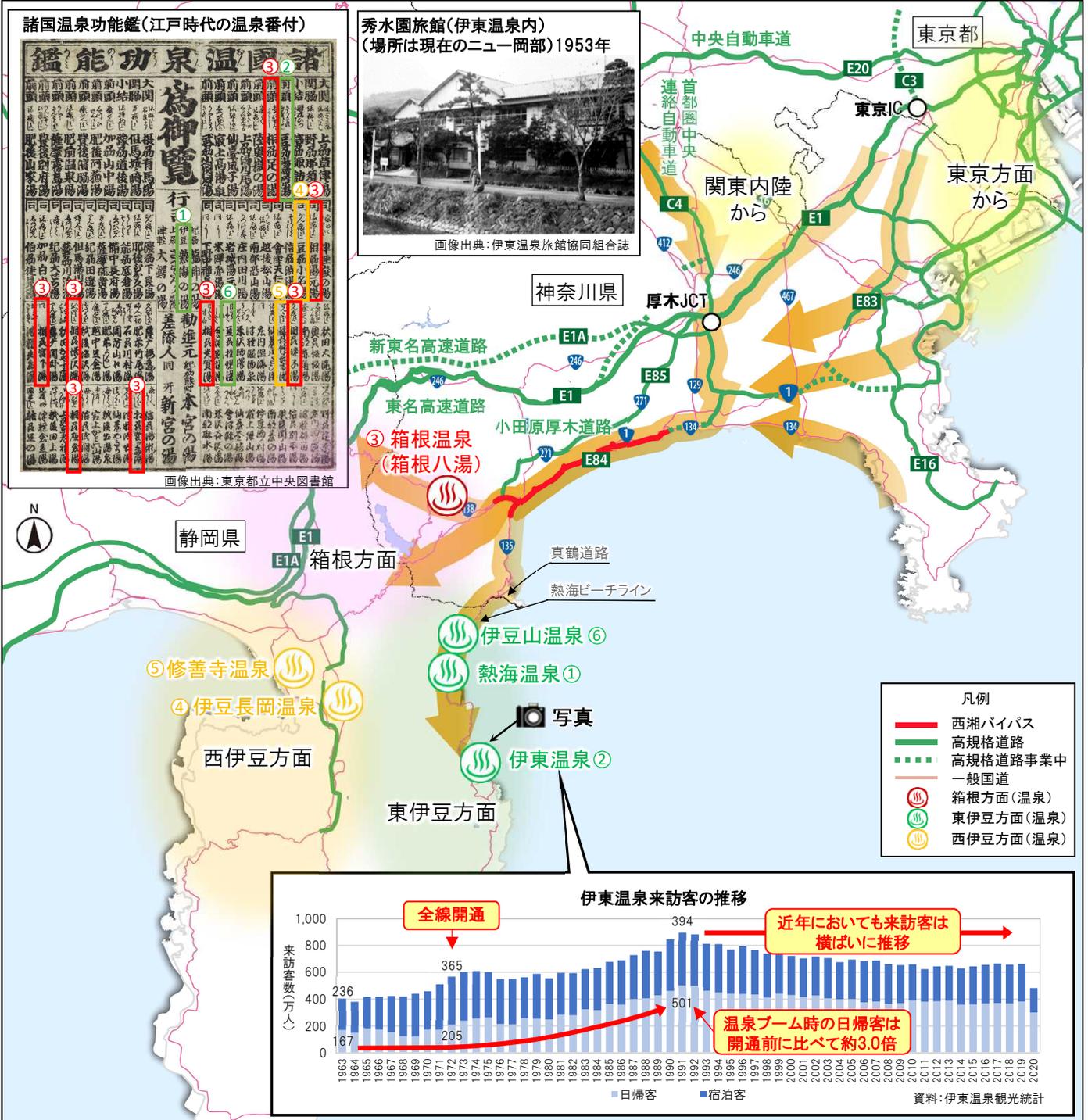
#### 4. 西湘バイパスの整備効果

### ②首都圏と歴史的な温泉地を結ぶ道



- 箱根や熱海、伊豆は、古くから栄えた全国的な温泉地が多く、1960年代には観光地として家族旅行の定番になりました。
- 西湘バイパスは首都圏から**温泉地へのアクセス向上**に貢献しています。

#### ■箱根・伊豆方面には古くから栄えた温泉地が多く存在



#### 《温泉事業者の声》



- ・伊東温泉は全国屈指の湧出量を誇る伊豆を代表する温泉地です。また伊東市は城ヶ崎海岸、大室山等のジオサイトを多く有する年間を通じてオフシーズンのない観光地で、伊東に起こしになる8割以上のお客は、東京、神奈川、埼玉の方のため西湘バイパスの恩恵はかなりのものと思います。
- ・西湘バイパスは伊豆への導線として重要な道路になっています。西湘バイパスを利用して神奈川県内をストレスなく通過できることは、伊豆に行くきっかけを作る一番のメリットになるとと思います。

資料: 2021年10月ヒアリング調査結果

#### 4. 西湘バイパスの整備効果

### ③沿線地域の観光振興に貢献



- 西湘バイパスのIC周辺には、小田原城址公園や海水浴発祥の地である大磯海水浴場など多数の観光・レジャー施設が立地しています。
- 西湘バイパスは沿線の観光交通を支え、直近15年間の観光客数が約200万人増加するなど、**地域観光振興に貢献**しています。

#### ■西湘バイパス沿線の主要な観光施設



#### 古くから地域振興を支える観光地

##### ＜小田原城址公園＞

小田原城址公園は、国指定史跡の小田原城の本丸と、天守閣を中心に整備されている公園で、「日本のさくら名所100選」にも選ばれる桜鑑賞の名所です。

##### 天守閣復興60周年式典

小田原城天守閣の復興から60年の節目となる令和2年に記念式典が開催されました。天守閣再建の大きな力になった瓦一枚運動や寄付活動の記録が展示されました。

##### 60周年式典ポスター



画像出典：小田原市HP

##### ＜小田原城天守閣の観光客推移＞



##### 《小田原市の声》

- ・小田原城址公園は平成28年から平成31年までは毎年300万人を超える観光客にお越しいただいています。
- ・西湘バイパスは関東エリアから多くのお客様を小田原へ運ぶ導線として機能し、観光アクセスに大きく貢献しています。

資料：2021年11月ヒアリング調査結果

#### 新たに創出された観光施設

##### ＜漁港の駅TOTOCO小田原＞

小田原漁港が、水産物の流通の拠点として更なる発展をするため、「畜養水面」「生産加工流通施設」の整備とともに、水産業の振興と地域活性化を図ることを目的として開業した交流促進施設です。開業以来、特に関東圏からの観光客で賑わう人気施設となっています。



画像出典：小田原市HP



写真：2021年11月14日 撮影

##### ＜大磯港賑わい交流施設 OISO CONNECT＞

大磯町が回遊型観光の拠点として大磯港に整備をした、賑わい創出施設です。大磯港で当日水揚げされた魚をはじめ、朝採り野菜や農産物、町内の特産品などを取りそろえるショップエリアと、地元食材にこだわったカフェ等で構成される人気施設です。



画像出典：大磯町



画像出典：みなとオアシス大磯HP

#### 4. 西湘バイパスの整備効果

### ④老舗の味の流通を支援



○西湘バイパス沿線地域では、「かまぼこ」、「ひもの」といった水産加工品が地域産業として古くから発展しており、**生産地と消費地の橋渡しに貢献**しています。

#### ■西湘バイパス沿線の漁港・水産加工工場



#### 「かまぼこ」の流通

＜沿線の「かまぼこ」昔話＞



小田原生まれの二宮尊徳が手土産に「小田原かまぼこ」を使ったことが江戸末期の日記に書かれています。

画像出典：有限会社山上蒲鉾店HP

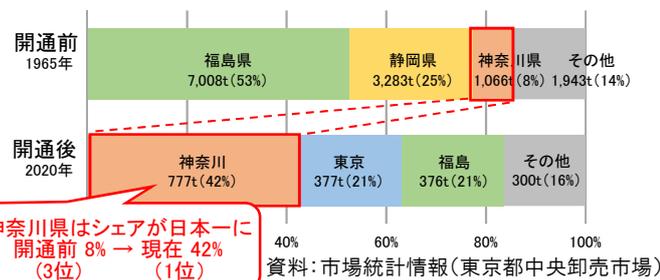
#### 《かまぼこ生産者の声》



・西湘バイパスの開通は、湘南エリアや横浜方面へ短時間で商品を流通させることに多大な貢献をしています。  
・現在では日本全国に出荷しており、西湘バイパスと小田原厚木道路の高速ネットワークはなくてはならない重要な存在です。

資料：2021年11月ヒアリング調査結果

#### ＜中央卸売市場における「かまぼこ」のシェア＞



#### 「ひもの」の流通

＜沿線の「塩干品類」昔話＞



小田原で、干物が作られるようになったのは、江戸時代に入って、地場で揚がるあじ、かますを開き干しにして、保存食として商売したのがそもその起こりといわれています。

画像出典：小田原名産早瀬のひものHP

#### ＜神奈川県産「ひもの」の市場取扱金額＞



#### 《ひもの生産者の声》

・販売先のほとんどが近隣の市町村に限られていましたが、輸送網と冷凍技術の発展により、築地市場をはじめとする首都圏の市場への商品供給も可能になりました。

・特に、西湘バイパス、新湘南バイパス、圏央道などは取引エリアの拡大とコスト削減に貢献しています。



資料：2021年10月ヒアリング調査結果

#### 4. 西湘バイパスの整備効果

### ⑤ 地域経済の発展に貢献



○西湘バイパスの沿線地域では、西湘バイパスの整備前後によりDID地区が1.8倍に拡大し、人口も1.2倍に増加するなど地域の発展に寄与しています。

○近年においても、IC周辺の開発が進み更なる**地域振興を後押し**します。

#### ■地域の都市化・人口集積に貢献



資料: 神奈川産業立地情報(神奈川県企業誘致促進協議会HP)、国土数値情報 人口集中地区データ、国勢調査

#### IC周辺の開発(西湘テクノパーク)



**位置** 国道1号線及び西湘バイパス橋ICから900mの至近距離、鉄道の最寄り駅JR東海道線国府津、二宮両駅から2.8kmに位置。

**面積** 約30.3ha **造成年** 2001年

資料: 小田原市HP、国土地理院地図

#### <小田原市の製造品出荷額の変化>



#### 《西湘テクノパークに立地する事業者の声》



・当社製品の主な出荷先は静岡方面となっています。立地では、西湘バイパスがあり東西移動のアクセス性が高いことが決め手になりました。また、平塚からのお客様も多く、利便性が高いと感じています。(製造業)



・西湘バイパスは、営業や現場への来訪のほか、社員が通勤などで利用しており、移動時間の短縮になっています。(製造メーカー)

資料: 2021年10月ヒアリング調査結果

# 5. 西湘バイパスと越波・高波への対応

- 海岸沿いに整備された西湘バイパスは常に越波・高波への対応を求められており、近年は気候の激甚化により大規模な被害を受けています。
- 被害を軽減するための工事や最新技術の導入などにより、**安全・安心な高速道路**の提供を目指しています。

## これまで 通行止めを伴う大規模な被災が発生

### ○ 2007年9月 台風9号による被災

交通規制： 全線 全面通行止め  
被災内容： 擁壁壁高欄陥没、路面陥没等



資料：かながわの海岸2019.3(神奈川県)

### ○ 2019年10月 台風19号による被災

交通規制： 全線 全面通行止め  
被災内容： 土砂堆積、橋脚基礎下の洗掘 西湘PA(下)の損壊等



資料：NEXCO中日本WEBサイト

## これから 越波・高波への対応に向けて

### ◆ 西湘PA(下り)の災害復旧工事

＜施設位置変更及び全面盤上げのイメージ図＞

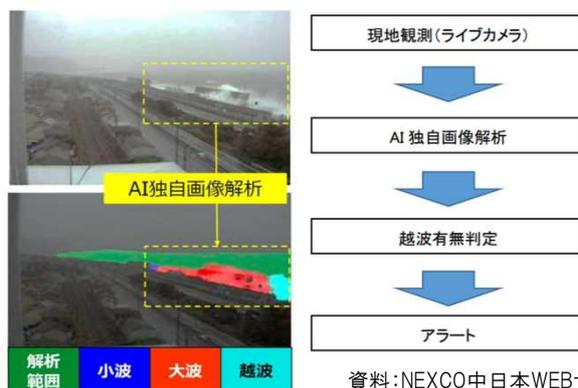


資料：NEXCO中日本WEBサイト

西湘PA(下り)は、2019年の台風19号により高波の被害を受けました。これまでは仮設駐車場および仮設トイレ等に対応してきましたが、これから実施する本復旧では、越波や高波による建物などの被害を軽減するための工事をおこないます。

- 津波による被災リスクの軽減のため、トイレ等休憩施設の位置を**海側から高速道路側へ変更**します。
- ご利用のお客さまや高速道路走行中のお客さまの安全性確保のための避難場所とするため、**パーキングエリア全面の盤上げ**を行います。

### ≪「越波リモート監視システム」実証内容≫



資料：NEXCO中日本WEBサイト

### ◆ AI画像解析技術を用いた「越波リモート監視システム」

※NEXCO中日本と株式会社ウェザーニューズで実証実験を開始

- 目的
  - ・現場で人が目視で行っている越波発生監視を効率化
- 実証内容
  - ・現地のライブカメラ画像をもとにAI(深層学習)の独自画像解析技術により、波の大きさや越波の有無をリモートで監視するシステムの有効性を実証